

ごとう通信

第199号

平成29年7月1日

暑い夏が来ましたね！まあ適度な夏というのは最近経験してない気がします。暑い時はしっかり熱く、雨が降る時はしっかり雨が降る、そしてキレよく秋になるなんてことになってくれればいいのですが。

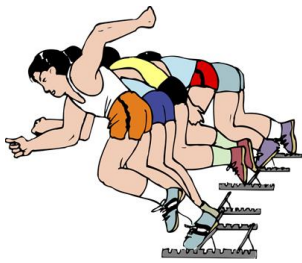
個人的には体育会系で暑い夏もダラダラ汗をかきながらスポーツをしていたものですから若い頃は「暑いだけできついなんて鍛えていない証拠」くらいに思っていました。しかし、最近、汗をかいた後の疲労感がズシッと重いです。何年も自宅で冷房をつけるなんてことはなかったのですが、昨年あたりから稼働率が高くなってしまいました。この夏は体を

鍛えてみようかな（もちろん適度に）とも思っています。

さて、先月、気の合う仲間たちと大阪に遊びに行ってきました。昨年からランニングクラブの仲間たちと「日本の陸上界を発展させるために日本選手権を生で観戦に行こう！」という企画を立て、みんな忙しい中、休みをとって行ってきました。

数多くある種目の中で、現在人気ダントツナンバー1は男子100メートルです。桐生、山縣、ケンブリッジに今年大暴れのサニブラウン。

スターのいる種目は人気があります。一方、その他の競技はなかなか人気が出てきません。個人的には長距離種目が好き



なのですが、ほとんど注目されていません。男子短距離はリレーでこそメダルを狙えますが、個人で世界レベルとは言えません。でも他の種目とは違います。やはりスターの存在が大きいんですね。

何かを社会で広めようとするとき、スターは不可欠です。それをブームから文化にするためにはもっと地道な作戦が必要です。これはスポーツに限らず何でも言えると思います。さて、訪問歯科や食支援を広めるとき：そっかあ、スター不在なんだ。なかなか普及の道は険しいですね。

紙文化

最近の技術が進んでいるのは皆さんも感じるところでしょう。イン